

非戦決議 2022

ひょう が む よう 兵 戈 無 用

「阿弥陀如来の本願名号を行信する願生浄土の道が、人類平等の救いを全うする普遍の大道であることを開顕された」（真宗大谷派宗憲・前文）宗祖親鸞聖人は、「世のなか安穏なれ、仏法ひろまれ」と世の人々に呼びかけられました。

戦後50年を経た1995年6月、真宗大谷派は、「過去において、大日本帝国の名の下に、世界の人々、とりわけアジア諸国の人たちに、言語に絶する惨禍をもたらし、佛法の名を借りて、将来ある青年たちを死地に赴かしめ、言いしれぬ苦難を強いたことを、深く懺悔し、「不戦の誓い」を表明しました。

（『不戦決議』）

更に2015年6月、私たち宗参両議会議員一同は、あらためて「非戦の誓い」を表明しました。如来の願心は、“賜ったいのち”を奪い合うことを悲しみ、私たちに“共に生きよ”と呼びかけておられることを確かめ、「殺してはならぬ、殺さしめてはならぬ」という仏陀の言葉を如来の悲願と受け止めたのです。

（『非戦決議2015』）

この度のロシア連邦のウクライナ侵攻には、唯々驚愕、悲痛の思いしかありません。私たちは、戦火の中、苦悩の日々を生きているウクライナ・ロシア双方の人たちの痛みと悲しみに思いを馳せ、『仏説無量寿経』の中に示される、一切の武力や武器を否定する教えを表す「兵戈無用（ひょうがむよう）」という仏言の下、全ての武力行使に反対することを、ここに決議いたします。

2022年6月7日

真宗大谷派 宗議会議員一同

2022年6月8日

真宗大谷派 参議会議員一同

（宗議会多数可決・参議会全会一致可決）